

【共通の設問】「まし」の用法を答えよ。(答え・解説は解答編)

【第1部】基礎編

Q1.

月を見ませば、心慰めなまし。

Q2.

春来たらば、花咲かまし。

Q3.

いかにかせまし、と心迷ふ。

Q4.

知らましかば、教へなまし。

Q5.

いづれの道を行かまし。

Q6.

春過ぎば、人みな嘆かまし。

Q7.

心ある人に問はましかば、答へなまし。

Q8.

何にせましと、独り嘆く。

Q9.

風吹かば、波立たまし。

Q10.

春の夢を見ましかば、心安らがまし。

Q11.

行かましやは。

Q12.

古典を読みましかば、心養はまし。

Q13.

我れも詠まましを、しかし詠まず。

Q14.

親に問はば、答えなまし。

Q15.

いかなる言葉にせまし。

Q16.

月の都に住みましかば、月をめでなまし。

Q17.

我れ歌詠まば、いかに楽しまし。

Q18.

山に登らましやと迷ふ。

Q19.

君が心、知りましかば、なほ恋しからまし。

Q20.

いまさら知らば、悔やままし。

【第2部】標準編

Q21.

古典を学ばましかば、いかに賢からまし。

Q22.

風吹かましかば、波静かならまし。

Q23.

何処に行かましと思ひ立つ。

Q24.

我れも見ば、悲しからまし。

Q25.

仏に祈らましかば、安心せまし。

Q26.

何か言はましと心迷ふ。

Q27.

君を見ましかば、嘆かざらまし。

Q28.

風吹かば、舟漕がまし。

Q29.

いかなる宿世にあらばやあらまし。

Q30.

我れ古典を究めば、いかに尊からまし。

Q31.

月の都の人ならば、いま帰らまし。

Q32.

命長からましかば、いかに楽しからまし。

Q33.

雨止まば、出でなまし。

Q34.

心安かれと祈らましかば、安らがなまし。

Q35.

いかにせましかと迷ふ。

Q36.

我れ若かりましかば、何事も成しまし。

Q37.

古典を解する人にあらばやあらまし。

Q38.

月見ましかば、心開けまし。

Q39.

いまさら何せまし。

Q40.

春雨降らましかば、桜散らなまし。

Q41.

我れ知らば、誰にか語らまし。

Q42.

心安く眠らましかば、夢も見まし。

Q43.

いざ参らましやはと、迷ふ。

Q44.

都に住まば、なほ古き友、訪ねまし。

Q45.

何か思ひましと、独り嘆く。

Q46.

花を見ましかば、なほ咲きいでまし。

Q47.

古典を学ばば、心養はまし。

Q48.

何せましかと、心迷ふ。

Q49.

月清く照らましかば、夜更けて見まし。

Q50.

いかなる人にあらんましやと、迷ふ。

【第3部】 応用編

Q51.

名にし負はばいざ言問はむ都鳥わが思ふ人はありやなしやと問はましかば、答へまし。

Q52.

雪のいと高う降りたるを見ましかば、いかに趣あらまし。

Q53.

古典をひもとかば、いかに心養はまし。

Q54.

心ある人にあらましかば、これを尊しと思はまし。

Q55.

いかなる宿世にあらましかと思ふ。

Q56.

仏に祈らば、心安らがまし。

Q57.

春の野に若菜摘まましかば、夏に栄えまし。

Q58.

我れ何せましと独り嘆く。

Q59.

月見ましかば、夜更け知らまし。

Q60.

古き友、いま訪ねば、いかに喜ばまし。

Q61.

心定まらば、いかに楽しからまし。

Q62.

古典の心を解する人にあらましかば、なほ尊し。

Q63.

心ある人を訪ねば、いかに語らはまし。

Q64.

旅に出でましかば、なほ多く見まし。

Q65.

古典を学ぶは、心養はまし。

Q66.

我れ若き時にあらましかば、いかに学ばまし。

Q67.

いかなる人にあらんましかと、心迷ふ。

Q68.

月を愛でましかば、夜更けまで楽しままし。

Q69.

春来たらば、いかに楽しまし。

Q70.

いかに迷はましかと心定まらず。

Q71.

心ある人にあらましかば、これをいたはらまし。

Q72.

何せましかと、悩む。

Q73.

春雨降らば、桜なほ咲かまし。

Q74.

いかなる御縁にて、君と会はましかと思ふ。

Q75.

古き友、なほ我れに語らましかば、心安らがまし。

Q76.

いかなる道を選ばましかと、心迷ふ。

Q77.

月清く照らば、夜長からまし。

Q78.

心ある人にあらましかば、これを伝へまし。

Q79.

何方に向かましかと、心迷ふ。

Q80.

月の都の人ならば、いま帰らまし。

【第4部】入試レベル

Q81.

世の中にたえて桜のなかりせば、春の心はのどけからまし（古今和歌集）

Q82.

名にし負はばいざ言問はむ都鳥わが思ふ人はありやなしやと問はば、いかに答えまし。

Q83.

古き世にあらましかば、なほ古典を楽しまし。

Q84.

いかにせん、いかにせまし。

Q85.

風雅を解する人にあらましかば、心通はましを、いまや叶はず。

Q86.

春の野に若菜摘みせば、夏に栄えまし。

Q87.

月見ましかば、心開けまし。

Q88.

古典を究めば、なほ心養はましを、いまだ究めず。

Q89.

いかなる人にあらんましかと、独り迷ふ。

Q90.

心ある人を訪ねば、いかに語らまし。

Q91.

月の都の人ならば、いま帰りせば、なほ栄えまし。

Q92.

古典を学ばましかば、いかに心強からまし。

Q93.

何せましかと、ただ嘆くのみ。

Q94.

春雨降らせば、桜散りなまし。

Q95.

仏に祈らましかば、心安らがましを。

Q96.

古き友、いま訪ねば、心通はまし。

Q97.

我れ若かりせば、何事も成しまし。

Q98.

心ある人にあらましかば、これをいたはらんまし。

Q99.

何か言はましやと、心迷ふ。

Q100.

古典を究むる人にあらましかば、なほ尊し。